

本学では、専門学校等評価基準に基づき、学校教育活動その他の学校運営の状況について、年度終了時に自己点検評価を行っており、その結果を本書にてご報告いたします。

この自己点検評価に基づき、さらに学校関係者評価委員によって課題や反省点、改善点などの検討がなされ、更なる教育水準の向上に向けて教職員一同努力を傾けていく所存でございます。

この検討内容など詳細につきましては、学校関係者評報告書にてご報告を申し上げます。

令和 8 年 6 月 1 日

学校法人 大橋学園 名古屋ユマニテク調理製菓専門学校

校長 星野 正純

令和7年度 自己点検評価の実施結果

3：基準を上回る、2：基準をおおむね満たす、1：基準を満たしておらず改善が必要

【項目1】 教育理念・目的・目標

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育理念、目的及び 目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての 目的及び目標を明確に設定し、養成する人材 像を明確にしていること。	3	学則 HP パンフレット

【項目2】 教育課程、教育の実施、学修成果

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育課程の編成と 授業科目	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現 するために必要な教育課程編成・実施方針を 作成した上で、教育課程を体系的に編成し、 系統性・段階性に配慮した授業科目を配置し ていること。	3	学則 シラバス 教育課程編成委員会議事録
2 教育の実施	授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実 習又は実技など、適切な授業形態で教育が実 施され、かつ、適切な教材が用いられるとと もに、成績評価基準に基づき成績評価を行っ ていること。	3	シラバス 教務内規 講義録 成績表 学生便覧
	企業等と連携した、実習、実技、実験又は演 習等（以下「実習・演習等」という）の授業 を行っていること。教育目標の達成に必要な 企業等と連携した実習・演習等の単位時間ま たは単位数の総授業時数に占める割合を具体 的に設定していること。	3	学則（教育課程表） 講義録 シラバス 校外研修実習実施要項
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現 するために必要な卒業認定方針（資格・免許 等を含む修得させる職業能力を含む）を学 科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒 業の認定をしていること。	3	学則 教務内規 養成施設規定 進級卒業判定規定 学生便覧
4 学修成果目標の 達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに 職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許 等の取得や知識・技術・技能の修得含む。） についての目標を定め、その目標が達成でき ていること。	3	シラバス 教務内規 進級卒業判定規定
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、 その目標が達成できていること。	3	就職活動計画書 就職活動報告書 キャリアプランニングシラバス

【項目3】学生の受入れ学生支援

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 学生募集及び 入学者の選抜、 収容定員の管理	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	3	学則 募集要項（パンフレット） 入試委員会議事録
	学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。	3	募集要項（パンフレット） 入試委員会議事録
4 学生生活に 関する支援	カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	2	個別面談シート（記録） 学生指導記録 学生便覧
	留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	3	個別面談シート（記録） 学生指導記録 学生便覧 学科会議録
	学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	3	年間行事予定表 学生便覧 健康診断実施要領
	学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	企業説明会 就職支援アプリ（キャリアマップ） 学生便覧 キャリアプランニングシラバス

【項目4】教育実施組織・教員

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教員の配置、 募集、採用	教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	2	厚生労働省 調理師法 製菓衛生師法
2 教員の組織 編制等	学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	3	教員名簿 校務分掌表 教員組織図 行事担当表
3 教員の資質の 向上	学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	3	研修報告書 新入職員研修資料 技能士検定受験
	特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。	2	協会主催の研修報告書
	教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	2	協会主催の研修報告書

【項目5】教育環境

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育環境の整備	教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	3	学校設置認可申請書 教室配置図 実習備品台帳
2 安全対策、 防災組織	学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	3	安全衛生管理計画表

【項目6】教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 中期事業計画と 財務基盤	当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	3	資金収支計算書 活動区分資金収支計算書 HP
2 学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	3	事業計画書 組織図 シラバス
3 学校評価の実施と 改善活動	特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	3	教育課程編成委員会議事録
	学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	3	学校関係者評価報告書
	学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	2	学校関係者評価報告書
4 社会からの理解と 情報の公表	当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	3	HP